



人類に
奉仕する
ロータリー

Weekly Report No.2604

Rotary International District 2580

石垣ロータリークラブ



地区ガバナー: 上山 昭治氏

石垣ロータリークラブ

RI 会長: ジョン・F・ジャーム

「出会いを大切に」

ロータリーレート \$1=¥102

石垣ロータリークラブ55年のあゆみ

1975~1976年度



十五代会長 下地 恵光

| | | | |
|------|-------------|-------|-------|
| 副会長 | 富川 盛博 | 幹事 | 山城 明 |
| 副幹事 | マリオ・C・バーベリー | 会計 | 西表 孫知 |
| 会場監督 | 宜保 忠直 | クラブ奉仕 | 富川 盛博 |
| 社会奉仕 | 池間 武福 | 職業奉仕 | 糸洲 長勝 |
| 国際奉仕 | 廖 運成 | | |

●教育予算の少ないへき地学校へコピー機 7 台、輪転機 1 台(総額 112 万)を寄贈。

《社会情勢》

1976 年・電話即時通話テレビ同時放映

- ・ソーロン台風八重山を直撃(最大風速 39.1 ㎧、瞬間最大 59.7 ㎧)
- ・波照間空港開港
- ・与那国農協のライスセンター完成
- ・県下の農業用大浦ダム着工



1975~76 年度 RI 会長
エルネスト・インバッサイ・デ・メロ
(ブラジル・ニテロイRC)

【RIテーマ】



TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を!

HAPPY BIRTHDAY

今週の

| | |
|--------|-----------------|
| 渡久地 明氏 | 1949 年 11 月 4 日 |
| 宮良 榮子氏 | 1941 年 11 月 5 日 |

| | | | | | |
|-------|---------|--------|---------|-------|---------|
| 会 長 | : 前木 繁孝 | 副 会 長 | : 大浜 一郎 | 幹 事 | : 前原 博一 |
| 副 幹 事 | : 宮城 早人 | SAA・出席 | : 遠藤 正夫 | 情報・会報 | : 宮良 薫 |

例会日 水曜日 12:30~13:30
 例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
 E-mail ishiroary@ninus.ocn.ne.jp

- 司会進行： 遠藤 正夫
- ロータリーソング：手に手つないで・四つのテスト
- ソングリーダー：大浜 勇人
- ゲスト：前木のり子氏・大濱琴美氏
- メークアップ：仁開一夫・大浜一郎・上原晃子
南波正幸・森田安高

■出席報告

会員総数 41名 出席義務会員 40名
出席数 19名 欠席数 21名
出席率 47.50%(10月通算出席率 53.33%)

 **本日のここにこ**

| | 小 計 | 累 計 |
|-----|--------|----------|
| BOX | ¥3,000 | ¥73,000 |
| コイン | ¥2,455 | ¥59,893 |
| 合 計 | | ¥132,893 |

- 台湾訪問の旅、無事帰国しました。(前木 繁孝)
- 竹富町商工会 30 周年記念式典・祝賀会、お陰様で盛會に済ます事が出来ました事に感謝です。(上勢頭 保)
- 台湾周年事業への御参加ありがとうございました。(大浜 勇人)

幹事報告

前回理事会の中で話し合った規定審議会について、ご説明したいと思います。3年に一度RIでクラブの運営に関する定款等の改定があります。今回2016年に大きな変更がありましたので、それに関して石垣RCではこれまで通り変更しないのか、RIの規定審議会での改定に則って変更するかを皆さんと一緒に考えながら、12月の年次総会で決議を取る事になりました。

まず3点大きな変更があります。1点目、入会金を廃止する件。2点目が例会日を月2回以上とする件。3点目、会員資格を広げる件。それぞれの目的は会員数の減少を防止、会員増強のための施策だと思えます。

入会金を廃止する件ですが、当クラブの細則に入会金3万円と謳われています。例会日を月2回以上とする件、当クラブでは毎週の例会は水曜日12:30に開催と謳われています。最後に会員資格を広げる件、RI規定では会員の身分をクラブ独自で決定して下さいという事です。当クラブでは会員の資格条件として、善良な成人であって、職業上、および地域社会において良い世評を受けている者によって構成される、とありますので、職業が大前提になっています。12月の総会で以上の3つの事を決議したいと思います。

会長挨拶：前木 繁孝

本日は報告会となっています。13日に旅立って、その日は台北大同RCからの盛大な歓迎を受けて、夕食会にさせていただきました。翌日は台北大同RCの例会に参加し、私もひな壇に上げて頂き、良い思いを致しました。それから翌日台東に飛行機で飛んで、またやはり晚餐会を開いて頂いて、熱烈な歓迎を受けました。翌日に35周年記念祝賀という事で参加させていただきました。無事に行ってきた事、本当に良かったと思いますし、皆様にご報告致します。

今回は大濱達也さんの奥さま琴美さん、大浜一郎さんの奥様るみ子さん、私の妻のり子と3人が同行しました。今日はその中の2人がゲストで例会に参加させて頂いています。後ほど楽しかったお話などを頂ければと思います。早速台湾に行った方の報告をお願いしたいと思います。

 **台湾訪問報告**

◆前原 博一

初めて台湾へ行きました。10月13日から16日まで台北大同RC、そして台東東RCそれぞれ懇親会、式典祝賀会に参加しましたが、やはりまずお酒がかなり強いなと思いました。例会であったり、式典でもかなり熱烈歓迎を受けまして、逆に台湾のRCの方がこちらに来た時には、それ以上にやらないといけないなと感じました。それと同時にこれまでの歴史、先輩方が築き上げたものをきちんと引き継いで、渡す役割も担っているんだという事で、本当にいい勉強になりました。

観光も含めて、私が台湾について興味を持ったのが、宝くじ付レシートです。ガイドの方から説明がありましたが、職業上ピンときたのは、税務当局が正しい領収書を発行してもらう仕組みだろうと。正しい領収書というのは、宝くじの番号が付いていて、領収書を発行するという事は、そのレシートを買う必要があると思うんです。この買うレシートによって政府は各店舗、企業の売上を確実に把握するはずで、その宝くじ付の正式な領収書は「發票」と言うそうです。そして一般的に番号が付いていない手書きの領収書を「收據」というらしいです。

2ヶ月に1回抽選日があるそうです。一番高いのが1千萬元(約3,200万円)が当たると言う事で、レシートは大切に保管するらしいです。お客様は物を買ったらレシートを持って帰るわけです。

まずレシートで街を汚さない。またレシートを入れる募金箱もあるそうです。そういった形で、台湾は課税漏れ、所得をちゃんと把握して、その代わりに消費者にとっては宝くじという特典を付くので、お客様もちゃんとした領収書を出して下さいという形になるはずです。遊び心というか、物を買って領収書を捨てずに持って置く楽しみ、3,000万の大金が入って来るかもしれないというワクワク感、一発逆転・・・そういったすぐく面白い仕組みだなと感じました。

また正式な領収書でないと、会社の経費には出来ないらしいです。領収書をもらう時に法人の番号を伝えて、領収書に法人番号が打たれていないと費用にはできないという厳しい決まりがあるそうです。それもまた面白いなと思いました。

ロータリーに入って5年くらいになりますが、幹事になって台湾に行って、言葉はあまり通じませんが、ロータリーという繋がりですぐ懇親会に参加している自分をふと思ったら、不思議なような、さらに頑張らないと行けないなと思いました。

◆小林 昌道

台湾旅行は特に私はけがをしまして、13日の夜、台北大同 RC とお酒を飲んで、部屋に帰ってベッドに寝たつもりが落ちてしまって、落ちた所にあった台の角で目の上を切ってしまって、血が止まらなくなって、片方の手は傷を押さえ、片手でズボンをはいて、なんとかフロントまで行きました。フロントの人が救急箱を持ってきましたが、病院に行きましょうと言う事で、タクシーで近くの救急に行きました。診てもらって縫った方がいいとなりまして、1時間くらいで7針縫って、帰りは歩いて帰りました。明日、明後日抜糸になります。皆さんに初日からご迷惑をかけまして、お酒も皆さんと一緒に飲みたかったんですけど、これも1つの良い薬かなと思って我慢した分睡眠をたっぷりとれて、元気に帰って参りました。

次に台東に行くときには、台東の緑島にぜひ1日かけて行きましょうという事で、会員の方とお約束しましたので、また行けたらと思います。

◆宮良 薫

私は台湾3回目でした。着いた日に台北大同 RC の熱烈な歓迎を受けまして、二次会まで行ってけっこうお酒を飲みましたが、翌日二日酔いもなく体調も良くて、2日目に飛行機に乗って台東のまた歓迎会、けっこうお酒も強い人が多くて、言葉もしゃべれないまま、ジェスチャーを交えながら飲んでまして、途中ビンローという木の実をもらって食べると、言われるまま口に入れて、噛みながら唾を捨てるものだと、飲んでしまってから聞いて、身体が熱くなってしまって、やばいぞと、これで気絶する人もいると聞いて、私だけでなく

宮城早人も一緒に、二人ともペットボトルの水をぐくぐく飲んで、めまいがするような気分になりましたが、水をたくさん飲んだおかげで目が覚めて三次会まで行ってしまいました。

3日目、祝賀会で例年のごとくいろんな料理が出てくる中で、テーブルに日本語が出来る子がいたので、説明をしてもらいましたが、出てきたのがこうもりのスープ、カエルの料理は見た事ありましたが、こうもりのスープは初めてでしたが、けっこう美味しかったです。石垣との文化の違い、食の違い、台湾の人は余った物をスープまでビンに入れて持って帰るんです。残さず持って帰って、家で食べるというのが常識だそうです。それと会が終わっていなくてもお腹がいっぱいになって、満足したら帰っていくんです。それが不思議で、前回もそうでしたが、聞いたそれが当たり前だと、日本では非常識な事が常識として認められているという文化の違いを感じました。

今回、会長、幹事、国際奉仕委員長のいろんな計画の中で楽しく出来たのが良かったと思います。本当にどうもありがとうございました。

◆前木 のり子

13日から3泊4日の旅を同行させて頂きました。個人的には初台湾でした。とにかく台北大同、台東の方々の熱烈な歓迎、主人はレイまで頂いて、本当に驚きました。石垣 RC との長い交流の歴史の一端を見せてもらいましたし、いろいろお国柄の違いもありましたが、台湾の方が熱いなという事と、石垣の皆さんの活動が力強いものだなと、本当に感動しました。主人の緊張をよそに、私は個人的に旅を楽しんでしまいました。本当にありがとうございました。

◆大濱 琴美

行く先々で宮良榮子さんが「ご夫婦で来てくれてありがとうね～」と何回も言うんです。本当に夫婦で行けて良かったなと思いました。台湾の方、同じ顔をしています、ハグするんですね。台湾のロータリアンにいっぱいハグされてきました。楽しい3日間でした。また機会がありましたら、令夫人もご一緒に同行出来たらなと思います。榮子さん本当にありがとうございました。

◆宮良 榮子

会長、令夫人ののり子さん、達也さんの令夫人の琴美さん、それから一郎夫人のるみ子さん。今回一番私が良かったのは、日頃ロータリークラブは男性が多くて、男の中で女性が5名でやっていますが、今回旅を通して、3夫婦の個人的な夫婦愛、ご主人がこんなに成功して、輝いている裏には、素晴らしい奥様の支えがあるんだなと思いました。特に台東は大濱達也さんのお父さん、正良さんが締結したこともあって、たぶんご主人は

琴美さんをぜひお連れしたいと思ったんだろうなと、私は勝手に思っていました。

それから踊りも 55 周年の時、私たち 20 回くらい練習しました。今回 1 度も練習もなくて、当日に琴美さんがテープを持っていたので、始まる前に 1 回 2 回合わせて、それでやった皆さんのリーダーシップ、私は感動しました。それからやはり台湾という所は、石垣のように余興とか全く準備もなくて、毎年同じ事、手品をやるおじさんが 1 時間、2 時間もみんな見ていない中、ずっとやっています。そういう中で、石垣 RC のも一やで、本当に皆さんが盛り上がり、今回のロータリークラブの参加は奥様方 3 名の力が多大だったと思います。ロータリアンは本当に素晴らしい方ばかりなんです。私が厳しいときも皆さんの姿を見て、乗り切れた部分もあるので、その裏にはやはり素晴らしい奥様方がいらっしゃるなという事は、大きな収穫でしたし、それから前原さんも全然違う視点での領収書の事、思ってもいませんでした。やはり自分の専門的な分野で、1 つでも勉強するという姿勢に感動しました。

◆宮城 早人

前木のり子さん、大濱琴美さん、大浜るみ子さん、本当にありがとうございました。特に琴美さんには熱烈な叱咤激励を道中受けました事に、いろいろ勉強させて頂きました。大浜勇人さん、いろんな調整があったかと思いますが、素晴らしい工程を組んで頂いた事に感謝いたします。それから大浜正良さんのおかげで台東 RC とこのような形で出来た事本当に良かったと思います。特に昼の東海岸の日差しと波、光景が一生忘れられないなと思って非常に良かったです。

皆さんと良い旅が出来た事を感謝しております。今後ともよろしくお願い致します。

◆佐久本 達

お疲れ様でした。台湾は JC 時代から何十回も行きましたが、今回は大人数で本当に台湾の方にも喜んで頂いたと思います。楽しい台湾旅行ができました。いつもの通り米沢上杉 RC の幹事と話をしましたが、式典いつ始まったんですか？ 終わりには？ 後ろから帰って行きますよ、という話をしまして、米沢上杉 RC の方とも交流ができて、楽しい旅行だったと思います。ありがとうございました。

◆大浜 勇人

まず、国際奉仕委員長として、今回 19 名の方にご参加いただきありがとうございました。当初は 15 名を目標としていましたが、台東 RC の 35 周年祝賀会を盛大にお祝いすることが出来たんじゃないかなと、感謝申し上げます。毎回思うんですが、この熱烈歓迎は何でかかと、ロータリーと

いう事もあるんでしょうけど、やっぱり大濱達也さんや一郎さんであったりが、交流を続けてきた結晶なのかなと思います。これからも台湾と密に交流を持って、一人一人がそういう気持ちで行けたらいいなと思います。今回はありがとうございました。

◆大濱 達也

不思議な縁で私の父が 25 年前に台東 RC と締結をしたという縁で、今でも脈々と続いてきた事が、大変嬉しいし、私は最後まで行かないといけないなと思っています。石垣 RC55 周年の歴史を築いたのと一緒に、25 年の歴史は台湾との交流もあったんだという事で、飲むのはちょっときついですが、台湾の方とのハグをして抱き合うというのも、1 つの国際ロータリー親善の表れかなと思っています。ただ残念だったのは、一番重鎮で活躍された上勢頭 保さんが今回は商工会の周年事業で行けなかったという事で、ぜひ次回は上勢頭 保さんを団長にして、また台東に行きたいので、よろしくお願い致します。本当に皆さんありがとうございました。

☆・☆・例会風景・☆・☆



台湾に同行した奥様にもゲストで来て頂きました。